

第1回碧南市まなびさぽーと資金支給審査会 会議録

日時

令和2年6月22日（月）午前11時00分～午前11時45分

場所

碧南市役所2階 会議室1

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 碧南高等学校長 伊豫田祥子、
碧南市主任児童委員代表 鈴木政枝、
新川中学校PTA会長 角谷健一郎
南中学校長 川隅義孝、
中央中学校長 小島真由子
学校教育課長 小澤徹
- (2) 事務局職員 教育長 生田弘幸、教育部長 奥谷直人、
庶務課長 村松幸雄、庶務課長補佐 亀島有香、
庶務課主事 杉浦涼太

傍聴者 0人

会議内容

- 1 開会
- 2 碧南市まなびさぽーと資金支給審査会委員の任命について
- 3 教育長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 副会長の指名
- 6 碧南市まなびさぽーと資金制度について
- 7 議題
 - (1) 令和2年度碧南市まなびさぽーと高校生新規申請者の認定について
 - (2) 令和2年度碧南市まなびさぽーと高校生継続申請者の認定について
- 8 その他
 - (1) 碧南市まなびさぽーと中学生の部について
 - (2) 次回開催予定について
- 9 閉会

議事の要旨

1 開会

開会を宣言。

2 碧南市まなびさぼーと資金支給審査会委員の任命について

退任された委員の補欠委員として、角谷健一郎さん、小澤徹さんの2人を委員として任命した。任期は、前任者の残任期間となるため、令和3年3月31日とする。

3 教育長あいさつ

(教育長のあいさつ。)

4 会長あいさつ

(会長のあいさつ。)

5 副会長の指名

川隅義孝委員を副会長とすることに決定した。

6 碧南市まなびさぼーと資金制度について

事務局から、参考資料1により、まなびさぼーと資金制度について説明。
(質疑なし。)

7 議題

(1) 令和2年度碧南市まなびさぼーと高校生新規申請者の認定について

事務局から資料1(個人情報等があるため、資料は非公表)により説明。
新規申請者は5名。

審議の結果、新規申請者5名のうち2名を認定した。

(主な質疑)

会 長：ご自由に発言、審議お願いいたします。

委 員：成績判定3.5というのは、基準という事なので下回る場合は却下という事でしょうか。

事務局：基準については、委員の方のご意見をきいて、変えてもよいか考えていきたいです。

入った学校によってこれまで以上に頑張らなくてはいけない子とそうでない子もいます。所得についても上の兄弟が働き出して基準を超えることがあります。ご意見をいただければと思います。

委員：何らかの基準は設けなくてはならないと思います。中学校で3.5以上は優秀。中学校で思うような評定が取れなくても、高校で3.5以上とれるようになった子に支援があるといいと思います。

委員：基準の3.5を変えていく議論になっていますが、それは今後のお話で、今回の子たちは今の基準に当てはまる子しか認定のしようがないということではないでしょうか。

事務局：おっしゃる通りです。今回は今までの基準で認定を行います。委員の方に言っていたのは今後の意見としていただきます。話が混乱してしまうようで申し訳ございません。

会長：一度整理いたします。今回はこれまでの基準を用いて審査します。基準については別に機会を設けます。

(2) 令和2年度碧南市まなびさぼーと高校生継続者の認定について
事務局から資料2（個人情報等があるため、資料は非公表）により説明。
継続申請者は4名。

審査の結果、継続申請者2名を認定した。

(主な質疑)

委員：同じ家族で同時に申請し、受け取ることは問題ないのでしょうか。また、今回は載っていない学校は過去に実績がありますか。

事務局：個人への支給ということで同時に申請することに問題ありません。
また、今回申請のない学校については過去には実績がございます。

8 その他

(1) 碧南市まなびさぼーと中学生の部について
事務局から参考資料2により、まなびさぼーと資金中学生の部について説明。
次回開催日は10月20日であることを伝えた。

(質疑なし。)

9 閉会

閉会を宣言。